

令和 8 年度
常磐自動車道
浪江～新地間猛禽類調査

特記仕様書

令和 8 年 1 月

東日本高速道路株式会社
東北支社 いわき工事事務所

第1章 総則

1－1．調査等概要	1
1－2．適用する共通仕様書	1
1－3．テクリスへの登録	1
1－4．履行期間	2
1－5．資料の貸与	2
1－6．部分使用	3
1－7．計画工程表	3
1－8．調査等打合簿の作成及び提出について	3
1－9．成果品	3
1－10．用語の定義	4
1－11．年度出来高予定額	4

第2章 業務細部に関する事項

2－1．業務内容	5
2－2．企画踏査	5
2－3．定点調査	5
2－4．営巣地確認調査	5
2－5．調査結果解析	5
2－6．打合せ	6
2－7．報告書作成	6
2－8．交通費・宿泊費（打合せ）	6
2－9．交通費・宿泊費（現地調査）	6
2－10．成果品	7

第3章 補足事項

3－1．調査項目について	7
--------------	---

【添付書類】

様式－1	履行期間通知書
様式－2	計画工程表
様式第3号	年度出来高計画書
様式第3－1号	年度出来高修正計画書

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 令和8年度 常磐自動車道 浪江～新地間猛禽類調査

1-1-2 路線名 常磐自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 福島県 浪江町
至) 福島県 新地町

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数 量	備 考
企画踏査	1 式	
定点調査	6 箇所	
営巣地確認調査	6 箇所	
調査結果解析	3 回	希少猛禽類のみを対象とする（1ペアで1回）
打合せ	1 式	
報告書作成	1 式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

1-2-1 適用する出版物

下記に示す最新の出版物を適用する。

仕様書	取得方法	対象項目
環境影響評価業務積算資料 -Ver. 5.1-	出版物 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会)	企画踏査 定点調査 営巣地確認調査 調査結果解析 打合せ 報告書作成

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

(3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から360日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
報告書	常磐自動車道 浪江～山元間 猛禽類調査	契約締結後	電子データ
報告書	平成27年度 常磐自動車道 相双地区自然環境保全対策 検討業務	契約締結後	電子データ
報告書	常磐自動車道 浪江～南相馬 間猛禽類調査	契約締結後	電子データ
報告書	令和6年度 常磐自動車道 浪江～新地間猛禽類調査	契約締結後	電子データ
報告書	令和7年度 常磐自動車道 浪江～新地間猛禽類調査	契約締結後	電子データ

1-6 部分使用

共通仕様書 1-36 「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
定点調査結果（速報版）、 営巣地確認調査結果（速報版）、 調査結果解析（速報版）	令和 8 年 9 月	別途実施する協定業務で使用するため

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式-2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者で協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	項目	備考
猛禽類調査	企画踏査	
	定点調査	
	営巣地確認調査	
	調査結果解析	
	打合せ	
	報告書作成	

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員で協議の上決定するものとする。

1-8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-9 成果品

共通仕様書 1-46-1 「成果品」によらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね 30 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。

- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

1-10 用語の定義

共通仕様書 1-2 「用語の定義」に下記を追加する。

- (30) 「出来高」とは、契約書第 32 条の規定に基づき確認された業務の請負代金額をいう。

1-11 年度出来高予定額

1-11-1 年度出来高予定額

受注者は、各年度の出来高予定額を計画し、年度出来高計画書（様式第 3 号）を監督員にメールにて提出するものとする。

1-11-2 年度出来高予定額の変更

受注者は、調査等請負契約の変更が行われた場合、年度出来高修正計画書（様式第 3-1 号）を監督員にメールにて提出するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務内容

本業務は、常磐自動車道 浪江IC～新地IC間の4車線化工事近傍において、学術上重要な猛禽類の生息状況を調査するものである。

2-2 企画踏査

企画踏査とは、業務着手後速やかに現地踏査を行い、現地状況を把握したうえで調査位置及び方法、データ整理方法等を検討した作業計画書を作成するものをいう。なお、現地踏査、調査計画の策定、文献調査及び資料整理に要する費用を含むものとする。

2-3 定点調査

定点調査とは、見通しの良い定点を設定し、双眼鏡、望遠鏡等を利用して、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、クマタカ、チゴハヤブサ、ハヤブサの個体の追跡を行い、種別、成鳥・若鳥・幼鳥の別、個体特徴、行動状況、飛行高度、確認時刻、天候等を記録し、地形図に飛行ルート及び行動等を記入するものをいう。対象種・ペア以外の猛禽類が確認された場合も同様に記録するものとする。

なお、資料整理に要する費用を含むものとする。

調査予定時期、調査頻度、調査日数は下表に示すとおりとする。

調査予定時期	調査頻度	調査日数	備考
令和8年3月～8月	2回/箇所	3日/回	1 調査箇所あたり 計6日 (例年3月～5月に実施)

調査時期について変更がある場合、監督員に報告するものとする。

2-4 営巣地確認調査

営巣地確認調査とは、定点調査結果に基づき当該地区内の林内を踏査し、食痕等の営巣痕跡及び営巣状況の調査を行い、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、クマタカ、チゴハヤブサ、ハヤブサの営巣木を特定し、営巣の有無を確認する調査を行うものをいう。

なお、資料整理に要する費用を含むものとする。

調査予定時期、調査頻度、調査日数は下表に示すとおりとする。

調査予定時期	調査頻度	調査日数	備考
令和8年4月～8月	1回/箇所	3日/回	1 調査箇所あたり計 3日 (例年6月に実施)

調査時期について変更がある場合、監督員に報告するものとする。

2-5 調査結果解析

調査結果解析とは、現地調査結果を基に解析し、当該地区における生息状況等の把握を行い、調査結果を整理するものをいう。

なお、解析対象は、希少猛禽類（ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、クマタカ、チゴハヤブサ、ハヤブサ）とする。

調査結果解析の内訳は、下記に示すとおりとする。

(1) 行動圏内部構造解析

影響予測に資するため、現地調査結果、自然環境調査、社会環境調査をもとに、行動圏内部構造の解析を行うものとする。内部構造では、①行動圏、②高利用域、③営巣中心域を把握するものとする。

(2) 影響予測・保全措置の検討

行動圏内部構造解析結果等を踏まえ、4車線化工事が猛禽類の繁殖や生息環境に及ぼす影響を定量的に予測するものとする。影響があると予測された場合は、速やかに監督員に報告し、監督員が適切な保全措置の検討を指示した場合は、その指示に従うものとする。なお、これに要する費用については別途監督員と協議するものとする。

2-6 打合せ

本業務における打合せの回数は4回とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せの費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い は監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路(株)いわき工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

種 別	回数	備 考
当初	1 回	作業計画打合せ
中間	2 回	中間打合せ、業務内容確認検査
最終	1 回	完了検査

2-7 報告書作成

報告書作成とは、現地調査結果及び調査結果解析結果をとりまとめ、考察、課題等を含め報告書を作成するものをいう。

2-8 交通費・宿泊費（打合せ）

交通費・宿泊費（打合せ）とは、調査等の実施に当たり必要となる、打合せに係る交通費・宿泊費をいう。なお、宿泊費には、宿泊手当（宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費に充てるための費用）を含む。業務に大幅な変更が生じた場合、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費については、別途監督員と協議するものとする。

2-9 交通費・宿泊費（現地調査）

交通費・宿泊費（現地調査）とは、調査等の実施に当たり必要となる、企画踏査、定点調査、営巣地確認調査に係る交通費・宿泊費をいう。なお、宿泊費には、宿泊手当（宿泊を伴う、旅行に必要な諸雑費に充てるための費用）を含む。業務に大幅な変更が生じた場合の交通費・宿泊費については、別途監督員と協議するものとする。

2－10 成果品

本業務の成果品提出部数は共通仕様書「1－46－5 標準提出部数」に基づくものとし、報告書の表紙は黄土色（ダイニック アートベラム VC34 1/2）とし黒文字製本とする。

第3章 補足事項

3－1 調査項目について

本業務においては、現地調査におけるミサゴ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、クマタカ、チゴ、ハヤブサ、ハヤブサ等の生息確認状況によって、調査項目の追加・変更及び数量の増減を行う場合がある。これに要する費用については、別途監督員と協議するものとする。

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社
支社長 _____ 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

（調査等名） _____

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日） （3－2. 受注者が設定した業務の終期）

以 上

【様式-2】

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)
(実履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

業務内容確認検査 完了検査

協議內容經緯等

[illegible]

様式第 3 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社
監督員 殿

住所
会社名
代表者

年度出来高計画書

(調査等名)

標記調査等の年度出来高計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	年度出来高予定額	累計出来高予定額
令和 年度		
令和 年度		
計		

以 上

様式第 3－1 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社
監督員 殿

住所
会社名
代表者

年度出来高修正計画書

(調査等名)

標記調査等の年度出来高修正計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	修正前出来高予定額	契約変更に基づき 修正された出来高予定額
令和 年度		
令和 年度		
計		

以 上